

岡崎掃除に学ぶ会

をテクア技研でつくりました！

トイレ掃除に学ぶ会はこの地区では「西三河掃除に学ぶ会」があり、月に一度程度小学校か中学校のトイレをお借りして、経営者や有志、先生、生徒、PTAのみなさんが集まって総勢150名くらいで実施しているのですが、どうしても土、日に限定されテクアのメンバーがなかなか参加しづらい点と、人数が多すぎて子供たちと深く交流がはかれない点から、平日の夕方に子供たちの名前が全員覚えられるくらいの少人数で、ぜひ校長先生にも参加していただいてやれる会をつくりたい！！という思いで立ち上げました。

そして素手で便器をピカピカに磨き上げるという行為を通して、まず自分の経営者としての本気さや謙虚さを再確認し、校長先生の「校長の地位は長い教員生活の末にたどり着いた最後のこしかけ」(校長先生ごめんなさい!!)という意識を取り払い、生徒たちの「父親が忙しくていつも不在で、年々超潔癖症になっていく母親に育てられた、自分の得になることと偏差値のことしか頭になく、なぜそれがいけないの?という開き直った問いを平気でする」現代っ子の常識を覆し、最後にはピカピカきれいになった達成感と、少しでも世の中の為になったという喜びでみんな同じ笑顔になるという、三者とも幸せな時間となるように企画しました。

そして第1回目を12月22日、岡崎城北中学校で実施したのですが、校長先生がすばらしく輝いていて、常に生徒のことを思われている方で、そのせいか生徒たちもとても素直で明るく積極的で、世の中で報道されているほど学校が崩壊しているわけではなく、生徒たちの心も荒んでいるわけではないのだなあということを強く再認識することができました。そしてこういう心の交流を通して、企画した自分自身が一番学ぶことができ、教えられ、パワーをもらったと感じました。まだ多分、なんでトイレ掃除なの?と思われている方もたくさんテクアの中にいると思いますが、「岡崎掃除に学ぶ会」に一度参加してみてください。作業責任者を経験したことがある人なら誰でも「なるほど」と必ずうなずいてくれると思います。

最後にこの会を立ち上げるのに「日本を美しくする会」ブロック長、竹中電機の竹中会長の熱いご協力があったことをご報告させていただきます。

感謝。 【羽原 篤史】